



#1 平和の尊さを次世代に 平和展を開催



終戦の日を前にした8/7・8、戦争の悲惨さ、平和の尊さなどを後世に継承することを目的に「平和展」を開催しました。戦後80年の節目となる今年は、広島で被爆した1本のギターを題材にした児童文学書「ラグリマが聞こえる」にまつわるトーク&コンサートをはじめ、原爆の恐ろしさなどを伝える展示を実施。来場者は演奏に耳を傾けたり、興味深く展示を見たりして、改めて平和の大切さを感じていました。

- ①修復された被爆ギターを使ったコンサート
- ②③折り鶴の作製や平和を祈念するメッセージを書く来場者
- ④紙芝居に耳を傾ける子どもたち
- ⑤原子爆弾「リトルボーイ」の実物大模型を展示



#2 高槻の夏を満喫 まつりやイベントに参加



夏休み中の子どもたちが、市内の各イベントに参加。高槻まつりでは、パレードで踊りを披露した他、ちびっこみこしも登場し、多くの子どもたちでにぎわいました。また、今城塚古代歴史館では銅鐸（どうたく）・銅鏡の鋳造体験を実施。貴重な体験を通じて、すてきな夏の思い出ができました。

#3 伝統楽器「篠笛」作り 榎田小学校児童が挑戦



榎田小学校の4年生8人が7/15、日本の伝統的な木管楽器に親しもうと篠笛作りに挑戦しました。電動ドリルで穴を開けて笛を仕上げ、音色を確認。苦戦しながらも音が響くと、子どもたちは「わー、鳴った鳴った」と歓声をあげていました。

#4 「たかつき観光大使」に SO-SOさんが就任



ヒューマンビートボックスとして世界的に活躍するSO-SO（ソーソー）さんが7/14、市観光協会の「たかつき観光大使」に就任したことを濱田剛史市長に報告。SO-SOさんは「高槻市を音楽でさらに盛り上げていきたい」と意気込みを話しました。

#5 ダブルダッチの世界大会 宮川清楓さんが出場



第八中学校1年生の宮川清楓さんが7/17、ダブルダッチの日本大会で優勝し、世界大会に出場することを濱田市長に報告。宮川さんは、「練習の成果を発揮して1位を取れるよう頑張ります」と意気込みを話しました。

#6 高槻特産「服部越瓜」 漬け込み最盛期を迎える



塚脇地区で7/17、市の特産品「服部越瓜（しろうり）」を使った奈良漬の漬け込み作業が最盛期を迎えていました。宮之川原元町の酒店店主・入江三郎さんは「今年のシロウリも出来が良く、漬け込み作業も順調」と話していました。

CONTENTS

特集 高槻つーしんライターと 牧田&川添へ

- 10 クローズアップ
マンホールふた調査隊
足元の秘密を追え
- 16 NEWS Pick Up
・国勢調査始まる
・高槻城公園北エリアに
和食店とカフェ
- 19 高槻将棋まつり
- 20 イベントナビ
- 35 キラリカルチャー
- 36 ヘルスケア
- 38 市政インフォ
- 42 すくすくタイム
- 46 おでかけDAYS

広報誌は市ホームページにも掲載

※QRコードは熊デンソーウェーブの登録商標です



ID 020631

市の手続きや制度、催しなどのお問い合わせは

市コールセンター
Tel072-674-7111(年中無休)
平日8:00～19:00
土・日・祝日・年末年始(閉庁日)9:00～17:00
FAX072-674-7050(24時間受け付け)

高槻市人口 344,599人(－108)
世帯数 166,747世帯(－25)
※7月末現在(前月比)